

新作能

# 空海

—万燈万華の祈り—

蓮の花を見て  
自浄なるを知り

蓮の実を見て  
心徳を覚る

巡礼者 片山九郎右衛門  
不動明王 観世 淳夫  
空海 観世 鏡之丞  
地頭 浅井 文義

2024年 9月15日(日) 18:00開演

入場料(全席指定): A席12,000円、B席10,000円

会場: 高野山 壇上伽藍 金堂特設能舞台

お問合せ: アトリエ花習 Tel.090-9676-3798

# 新作能 空海

## —万燈万華の祈り

前シテ 巡礼者 片山九郎右衛門  
前ツレ 不動明王 観世 淳夫  
後シテ 空海 観世鏡之丞  
アイ 能力 野村太一郎  
笛 松田 弘之  
小鼓 大倉源次郎  
大鼓 大倉慶乃助  
太鼓 小寺真佐人  
恵果和尚・地頭 浅井 文義  
地謡 浦田 保親  
浅見 慈一  
北浪 貴裕  
長山 桂三  
安藤 貴康  
分林 道治  
味方 玄  
後見  
作・演出 笠井 賢一

## 聖なる空間に 立ち現れる空海の教え

空海が高野山を修行と祈りの場として開いて以来、多くの人々が巡礼し祈りをささげてきたこの壇上伽藍に、能舞台を特設して上演します。

## 排除でなく共生

空海が唐の恵果和尚から受け継いだ密教の教えは、全ての人が本来持っている仏性に目覚め、曼荼羅に象徴されるように、排除ではなく共生を大切にする教えでした。

## 万燈万華 光と平安の世界へ

空海が入定される三年前に高野山ではじめて催された法会『万燈万華会』の願文は、生きとし生けるものすべてを平安に満たされた涅槃の世界に送り届けるという大誓願です。

**あらすじ** 弘法大師空海生誕の地、讃岐多度津の庄に生まれ暮らす男が、流行り病に妻子を失う。生死の一大事と発心し、大師の修行の跡地を巡礼し、高野山にのぼる旅にでる。徳島の太龍嶽や土佐の室戸御厨人窟を経て、高野山にのぼり、日頃信心する不動明王に祈り、空海の求道の唐の旅に思いをはせる。

長安の青龍寺の恵果和尚から密教の奥義をことごとく伝授され、日本に密教をあまねく広めよとの遺言により帰国の途に就く空海。船は嵐に翻弄されるが、恵果和尚より贈られた霊木赤栴檀を空海自らが彫った不動明王を舳先に据えて祈ると、不動明王は生けるがごとく剣で大波を斬り鎮め、無事に帰朝できた。その後も数々の靈験奇瑞を表し和平をもたらした有様が語られ、現れた不動明王がそれらを目のあたりに見せる。

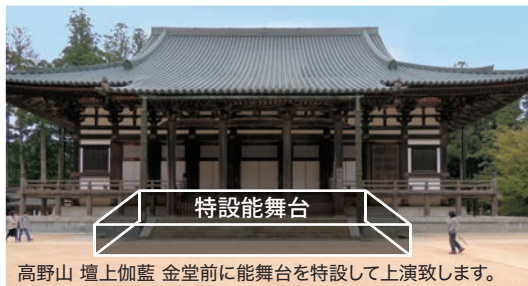
巡礼者は壇上伽藍に立ち、場の靈力に深く心うたれ祈る。おりしも「万燈万華会」の日。空海ご入定の三年前に高野山で、初めて催した法会で、生きとし生けるもの皆ともに悟りの世界に導こうという大誓願の法会である。金剛峯寺に仕える能力が法会の由来を語り空海の偉業をたたえ、灯籠を手にした稚児たちを導く。

声明が唱えられるなか、在りし日の空海が現れ、大日如来の智慧の光によって生きとし生けるものを総て涅槃の世界に送り届けようと永遠の祈りを捧げ舞う。

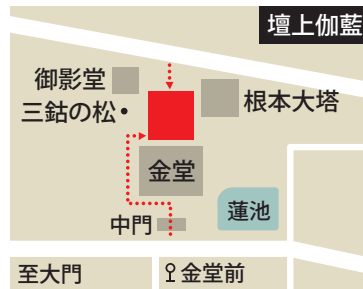
2024年

# 9月15日(日) 17:00開場/18:00開演

17:30～高野山と熊野の交流の証に、金剛峯寺代表と熊野本宮大社宮司のご挨拶と、「奥熊野太鼓」と「高野和太鼓童DONKAKA」の共演があります。18:00より能の上演。



高野山 壇上伽藍 金堂前に能舞台を特設して上演致します。



会場:高野山 壇上伽藍 金堂特設能舞台 〒6480211和歌山県伊都郡高野町高野山132 壇上伽藍

指定席:A席12,000円、B席10,000円

お問合せ・お申込:アトリエ花習

Tel.090-9676-3798 ✉mail@atelierkashu.com

ホームページ <http://atelierkashu.com>(申込フォーム有)

協力:一般社団法人こころの寺子屋協会

お問合・申込  
フォーム



アトリエ花習  
ホームページ